

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	コンピューター		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び曜時限	前期 金1限	教室名	pc視聴覚室
担当教員	鈴木大空	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
コンピューター自体の操作の習熟をはかることはもちろん、ソフトウェア間の連携、コンピューターネットワーク環境の適切な利用ができることに重点を置いて実施する。これにより、在学中ならびに卒業後の情報処理スキルの向上を図る。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70% 提出物 20% 態度・発表 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
FOM出版 わかるとできるMicrosoftWord・Excel・PowerPoint 2019						
《授業外における学習方法》						
自宅にあるPCを使つての復習等。						
《履修に当たつての留意点》						
MicrosoftOfficeの操作方法を覚える。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	オリエンテーション・復習①				
	各コマにおける授業予定	windows10の機能紹介・説明、授業の流れ解説 前期までに学んだことの復習				
第2回	授業を通じての到達目標	前期の復習②、ビジネス文書・工夫を凝らした文書の作成				
	各コマにおける授業予定	復習、問題集、請求書等の文書と、図形・表の編集				
第3回	授業を通じての到達目標	Word、Excelの応用問題・連携した文書の作成				
	各コマにおける授業予定	Word・Excelの応用問題				
第4回	授業を通じての到達目標	関数への理解をさらに深める①				
	各コマにおける授業予定	四則演算・よく使う関数・応用的な関数を使う①				
第5回	授業を通じての到達目標	関数への理解をさらに深める②				
	各コマにおける授業予定	四則演算・よく使う関数・応用的な関数を使う②				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	グラフへの理解をさらに深める		
	各コマにおける授業予定	様々なグラフの作成、編集、グラフを絡めた文書の作成		
第7回	授業を通じての到達目標	グラフへの理解をさらに深める②		
	各コマにおける授業予定	様々なグラフの作成、編集、グラフを絡めた文書の作成②		
第8回	授業を通じての到達目標	関数とグラフを用いた文書・資料作成ができる		
	各コマにおける授業予定	実際の場面で使える資料作成と、文書のまとめ方。		
第9回	授業を通じての到達目標	決められた文書・グラフ等を作成できる		
	各コマにおける授業予定	Word・Excelのまとめ問題集		
第10回	授業を通じての到達目標	まとめ問題集の続きと、資料集め		
	各コマにおける授業予定	問題集の続きと、PowerPoint課題の資料集め		
第11回	授業を通じての到達目標	PowerPoint課題の作成		
	各コマにおける授業予定	Word・Excelでまとめた資料をPowerPointに変換 課題作成の続き		
第12回	授業を通じての到達目標	powerpoint課題の作成②		
	各コマにおける授業予定	課題作成の続き		
第13回	授業を通じての到達目標	課題作成と、テスト対策		
	各コマにおける授業予定	課題作成とテスト対策問題集		
第14回	授業を通じての到達目標	課題発表		
	各コマにおける授業予定	powerpoint課題の発表		
第15回	授業を通じての到達目標	Microsoft Officeでの操作方法を理解し、実践で使うことができるようになる		
	各コマにおける授業予定	まとめと試験		

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	介護福祉研究		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	通年 火曜3・4	教室名	PC教室
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験と その関連資格	看護師として病院に28年勤務した。研究経験は看護学校にて卒論、就職後も院内看護研究に取り組み、研究委員を務め、日本看護学会にも数回発表し、学会論文集に論文を掲載している。			

《授業科目における学習内容》

高齢者の楽しみ・活動の支援・介助について、グループ研究として取り組む。
知識を専門的に身につけ、論文を作成・発表することができる。

《成績評価の方法と基準》

グループ評価・・・研究計画書70%、出席20%、平常評価点10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行

《授業外における学習方法》

日本介護福祉学会などの研究論文を読んで知見を深める

《履修に当たっての留意点》

介護研究とは、介護研究の必要性がわかる、取り組みが介護の質の向上につながり、利用者に還元するものであることがわかる

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式 授業を通じての到達目標	介護研究について、発表までの流れを理解できる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	オリエンテーションを聞き、研究の授業の流れを知り、この取り組みが卒業研究になることを説明できる		
第2回	講義形式 授業を通じての到達目標	研究とは 研究テーマの見つけ方を理解できる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	なぜ研究を行うのか、介護研究とは、を説明できる		
第3回	演習形式 授業を通じての到達目標	文献検索について理解出来る	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	文献とは何か、参考研究論文を探して自分の興味・関心は何かを説明できる		
第4回	演習形式 授業を通じての到達目標	文献検索の目的を理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	参考研究論文を探して自分の興味・関心は何か探すことができるA4にまとめることができる		
第5回	演習形式 授業を通じての到達目標	文献検索の結果疑問が明らかになったのか理解できる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	気になったテーマのわかったこと、分からないことをまとめ、発表することができる。この先行研究は何をどのように明らかにしたのか、まとめて発表することができる		

授業の方法		内 容			授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究仮グループで研究計画書「テーマ」について理解できる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	テーマ別で仮グループを作り、仮テーマを決めることができる		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	仮テーマで研究計画書を作ることを理解できる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	研究計画書「テーマについて」文献検索することができる テーマ選び・文献検索 仮テーマを決めることができる		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	仮テーマを決める 仮テーマで研究計画書の記入することを理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	研究計画書「テーマ・キーワード」について、文献検索できる		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	仮テーマを決める 仮テーマで研究計画書の記入することを理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	研究計画書「テーマ・キーワード」について、文献検索できる		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究動機、研究の背景を文献からまとめることを理解する 何が明らかになって、明らかになって異なることは何かを理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	研究計画書「動機、背景」について説明することができる		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	テーマ選び・文献検索を理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	研究の背景を文献からまとめることができ、何が明らかになって、明らかになって異なることは何か、そこから自分たちは何を明らかにしていくのか、研究の目的を考えることができる		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書「目的、倫理的配慮、仮説」について理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	目的、倫理的配慮、仮説を説明することができる		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書「方法、倫理的配慮」について理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	方法、倫理的配慮を説明できる		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書「倫理的配慮、仮説、研究の意義」について理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	倫理的配慮、仮説、研究の意義を説明できる		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書「仮説、方法」について理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	仮説、方法を説明できる		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	コミュニケーション技術(手話)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 金曜2限	教室名	401
担 当 教 員	木村昭人・山本修	実務経験と その関連資格	視覚障がい者手話講師			
《授業科目における学習内容》						
視覚障害者とのコミュニケーションの技法、手話表現を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
演習70% 出席20% 態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
医療の手話シリーズ 手話で必見！医療のすべて一般財団法人 全日本ろうあ連盟						
《授業外における学習方法》						
生活支援技術Ⅲの教科にて、視覚障害者の接し方学ぶ。						
《履修に当たっての留意点》						
非言語的コミュニケーションの理解を深めていく。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	初対面の挨拶を手話で覚える。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)	
		各コマにおける授業予定	名前と指文字			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	初対面の挨拶を手話で覚える。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)	
		各コマにおける授業予定	名前と指文字			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	指文字で名前を覚える。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)	
		各コマにおける授業予定	名前と指文字			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	表情、身振りの形を覚える	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)	
		各コマにおける授業予定	伝えることの重要性を知る			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	表情、身振りの形を覚える	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)	
		各コマにおける授業予定	伝えることの重要性を知る			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	挨拶を手話で話し身につける。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	簡単な自己紹介をする		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	挨拶を手話で話し身につける。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	簡単な自己紹介をする		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	時間の流れを手話を身につける。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	日時を表わす手話単語		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	時間の流れを手話を身につける。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	日時を表わす手話単語(数字)		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	時間の流れを手話で話す	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	1日のことを話す		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	時間の流れを手話で話す	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	1日のことを話す		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疑問詞の表現を学ぶ。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	疑問詞の表現		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自己紹介をする。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	総合的な復習		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自己紹介をする。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	総合的な復習		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	手話を理解している確認ができる。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	まとめ 振り返り		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	介護実習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	376 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限		教室名	
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験とその関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/介護福祉士・社会福祉主事任用資格・保育士・幼稚園教諭2種免許状・実習指導者講習修了・介護教員講習修了			
《授業科目における学習内容》						
地域におけるさまざまな場において、対象者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニケーションや生活支援を行う基礎能力を習得する学習とする。また、本人の望む生活の実現に向けて、多職種との協働のなかで、介護過程を実践する能力を養う学習とする。						
《成績評価の方法と基準》						
出席 80% 実習記録 20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
実習と記録、実習日誌、参考図書						
《授業外における学習方法》						
実習で学んだことと学校での学びを関連付けれるようにする。						
《履修に当たっての留意点》						
体調管理・自己管理に努め、積極的に実習に臨むこと						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設)	実習と記録 実習日誌 教科書	毎日の記録、介護計画 ①～③を書く	
		各コマにおける授業予定	介護実習を通して多職種連携、介護過程の実践的な展開方法を学ぶ			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設)	実習と記録 実習日誌 教科書	毎日の記録、介護計画 ①～③を書く	
		各コマにおける授業予定	介護実習を通して多職種連携、介護過程の実践的な展開方法を学ぶ			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設)	実習と記録 実習日誌 教科書	毎日の記録、介護計画 ①～③を書く	
		各コマにおける授業予定	介護実習を通して多職種連携、介護過程の実践的な展開方法を学ぶ			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設)	実習と記録 実習日誌 教科書	毎日の記録、介護計画 ①～③を書く	
		各コマにおける授業予定	介護実習を通して多職種連携、介護過程の実践的な展開方法を学ぶ			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設)	実習と記録 実習日誌 教科書	毎日の記録、介護計画 ①～③を書く	
		各コマにおける授業予定	介護実習を通して多職種連携、介護過程の実践的な展開方法を学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設)	実習と記録 実習日誌 教科書	毎日の記録、介護計画 ①～③を書く
		各コマにおける授業予定	介護実習を通して多職種連携、介護過程の実践的な展開方法を学ぶ		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設)	実習と記録 実習日誌 教科書	毎日の記録、介護計画 ①～③を書く
		各コマにおける授業予定	介護実習を通して多職種連携、介護過程の実践的な展開方法を学ぶ		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設)	実習と記録 実習日誌 教科書	毎日の記録、介護計画 ①～③を書く
		各コマにおける授業予定	介護実習を通して多職種連携、介護過程の実践的な展開方法を学ぶ		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設)	実習と記録 実習日誌 教科書	毎日の記録、介護計画 ①～③を書く
		各コマにおける授業予定	介護実習を通して多職種連携、介護過程の実践的な展開方法を学ぶ		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設)	実習と記録 実習日誌 教科書	毎日の記録、介護計画 ①～③を書く
		各コマにおける授業予定	介護実習を通して多職種連携、介護過程の実践的な展開方法を学ぶ		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設)	実習と記録 実習日誌 教科書	毎日の記録、介護計画 ①～③を書く
		各コマにおける授業予定	介護実習を通して多職種連携、介護過程の実践的な展開方法を学ぶ		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設)	実習と記録 実習日誌 教科書	毎日の記録、介護計画 ①～③を書く
		各コマにおける授業予定	介護実習を通して多職種連携、介護過程の実践的な展開方法を学ぶ		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設)	実習と記録 実習日誌 教科書	毎日の記録、介護計画 ①～③を書く
		各コマにおける授業予定	介護実習を通して多職種連携、介護過程の実践的な展開方法を学ぶ		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設)	実習と記録 実習日誌 教科書	毎日の記録、介護計画 ①～③を書く
		各コマにおける授業予定	介護実習を通して多職種連携、介護過程の実践的な展開方法を学ぶ		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設)	実習と記録 実習日誌 教科書	毎日の記録、介護計画 ①～③を書く
		各コマにおける授業予定	介護実習を通して多職種連携、介護過程の実践的な展開方法を学ぶ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	介護総合演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	通年 月曜1限	教室名	401
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験とその関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/介護福祉士・社会福祉主事任用資格・保育士・幼稚園教諭二種免許・実習指導者講習会修了・介護教員講習会修了			
《授業科目における学習内容》						
実習にむけて、実習の目的、意義、実習生としての心得マナー、又実習記録の書き方、介護過程の展開等実習と組み合わせる。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70% 出席 20% 授業態度 レポート 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習(中央法規出版)/実習と記録(滋慶出版)						
《授業外における学習方法》						
介護過程、介護総合演習の教科書熟読とする。実習と記録はタブレットを使用。						
《履修に当たっての留意点》						
実習施設で、事前オリエンテーションを行う。実習施設の動き、役割を学習し、実習に備える。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年時の実習をまとめ、施設の動き、役割を学んでいくことができるようになる。	最新介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習	教科書の指定部分を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	介護実習の振り返り(4/10)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年時の実習をまとめ、施設の動き、役割を学んでいくことができるようになる。	最新介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習	教科書の指定部分を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	介護実習の振り返り(4/17)			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	1年時の実習をまとめ、施設の動き、役割を学んでいくことができるようになる。	最新介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習	教科書の指定部分を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	介護実習の振り返り(4/24)			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習報告会の準備ができる	PC、実習日誌	PPTの作成を進める	
		各コマにおける授業予定	実習報告会準備(PPTの作成)(5/8)			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習報告会の準備ができる			
		各コマにおける授業予定	実習報告会準備(PPTの作成)(5/15)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	実習報告会の準備ができる			
	各コマにおける授業予定	実習報告会準備(PPTの作成)(5/22)			
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	実習報告会の準備ができる			
	各コマにおける授業予定	実習報告会に向けた練習をする(5/29)			
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ-Ⅱに向けた準備ができる			
	各コマにおける授業予定	「個人票」「実習を前にして」の下書き(6/5)			
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ-Ⅱに向けた準備ができる			
	各コマにおける授業予定	「個人票」「実習を前にして」の清書(6/12)			

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	介護福祉特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	通年 火3限	教室名	402
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験とその関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/介護福祉士・保育士・幼稚園教諭二種・社会福祉主事任用資格・介護教員講習修了			
《授業科目における学習内容》						
初級障害者スポーツ指導員資格取得の講義とする。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート提出 70% 出席 20% 態度(授業に取り組む姿勢)10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
障がい者スポーツ指導教本 初級・中級 (公財)日本障がい者スポーツ協会(編)						
《授業外における学習方法》						
テキスト、配布資料を参考に予習・復習を行う。 授業で得た知識を実習に活かし、スポーツやレクリエーションを通して障がいを持った方と交流ができるようにする。						
《履修に当たっての留意点》						
「障害の理解」「健康科学講座」の授業との関連性もあるので、予習・復習をする。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツにおけるインテグリティを理解しプレイヤーズファーストの視点を学ぶ。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	スポーツの指導者インテグリティと指導者に求められる資質①			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツにおけるインテグリティを理解しプレイヤーズファーストの視点を学ぶ。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	スポーツの指導者インテグリティと指導者に求められる資質②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者にとってのスポーツの意義と理念を理解できるようになる。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツの意義と理念①			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者にとってのスポーツの意義と理念を理解できるようになる。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツの意義と理念②			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ大会の目的、意義について学べる。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	全国障害者スポーツ大会の概要①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域のスポーツ振興進めていくことができるように、実施競技を知る。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	全国障害者スポーツ大会の概要②		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ指導者に求められるコミュニケーションスキルを身につけていく。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションスキルの基礎(グループワーク)		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	人前で話すこと、相手の意見を傾聴することができるようになる。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションスキルの基礎(グループワーク)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者福祉施策とその変換を学べる。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツに関する諸施策		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者スポーツに関する施策を知ることができるようになる。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツに関する諸施策		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツを実施する際の安全管理の基本的な項目と内容を学べる。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	安全管理		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	資格取得後の活動、情報入手方法を知ることができるようになる。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツの推進の取り組み		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	障がい者とのふれあいを体験し、障がい受容を知ることができるようになる。	配布資料	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障がいのある人との交流(障がい者施設訪問)		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	障がい者とのふれあいを体験し、障がい受容を知ることができるようになる。	配布資料	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障がいのある人との交流(障がい者施設訪問)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者スポーツについての理解を深めていく。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障がい者施設のふれあい体験の振り返りと総まとめ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	国際福祉論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 水4時限	教室名	401
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験とその関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/介護福祉士・社会主事任用資格・保育士・幼稚園教諭2種免許状・実習指導者講習修了・介護教員講習修了			
《授業科目における学習内容》						
海外の福祉と文化を学び実際に見学体験をする。						
《成績評価の方法と基準》						
海外研修参加のレポート提出						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布プリント						
《授業外における学習方法》						
インターネット等でアメリカの福祉について予習を行なう。						
《履修に当たっての留意点》						
積極的に英会話に取り組む						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	研修日程の確認	配布プリント	配布プリント事前に確認	
		各コマにおける授業予定	海外事業部担当者、名鉄観光者から、研修説明			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	研修日程・内容の確認	配布プリント	配布プリント事前に確認	
		各コマにおける授業予定	海外事業部担当者、名鉄観光者から、研修内容説明			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	研修中の準備	配布プリント	配布プリント事前に確認	
		各コマにおける授業予定	海外事業部担当者、名鉄観光者から、準備物等説明			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	研修中のマナー	配布プリント	配布プリント事前に確認	
		各コマにおける授業予定	海外事業部担当者、名鉄観光者から、研修マナー説明			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	安全面諸注意	配布プリント	配布プリント事前に確認	
		各コマにおける授業予定	海外事業部担当者、名鉄観光者から、説明			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	出発当日の注意事項について	配布プリント	配布プリント事前に確認
		各コマにおける授業予定	海外事業部担当者、名鉄観光者から、説明		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	海外保険について	配布プリント	配布プリント事前に確認
		各コマにおける授業予定	海外事業部担当者、名鉄観光者から、説明		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	研修全般について	配布プリント	配布プリント事前に確認
		各コマにおける授業予定	海外事業部担当者、名鉄観光者から、説明		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	出入国カードの質問事項確認	配布プリント	配布プリント事前に確認
		各コマにおける授業予定	海外事業部担当者、名鉄観光者から、説明		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	海外旅行保険、米国ドルについて	配布プリント	配布プリント事前に確認
		各コマにおける授業予定	海外事業部担当者、名鉄観光者から、説明		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	現地の状況について	配布プリント	配布プリント事前に確認
		各コマにおける授業予定	海外事業部担当者、名鉄観光者から、説明		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	海外研修	海外研修のしおり	配布プリント事前に確認
		各コマにおける授業予定	アメリカ、シアトルにて研修		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	海外研修	海外研修のしおり	配布プリント事前に確認
		各コマにおける授業予定	アメリカ、シアトルにて研修		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	海外研修	海外研修のしおり	配布プリント事前に確認
		各コマにおける授業予定	アメリカ、シアトルにて研修		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	海外研修報告会	海外研修のまとめ	配布プリント事前に確認
		各コマにおける授業予定	海外研修の内容まとめる。1年生に発表		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	社会の理解Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	二年生	学期及び曜時限	前期 木曜3限目	教室名	401
担 当 教 員	萩原 恭子	実務経験と その関連資格	社会福祉士。障害者施設にて5年勤務。		

《授業科目における学習内容》

本講義では、住んでいる地域を基盤とした利用者の生活とその継続的な支援についての基礎的知識と、社会保障の制度や施策について基礎的な知識を身につけることを目的とする。社会の理解後半の学期(2022年前期)では、次の3点について学ぶ。

- ①高齢者保健福祉と介護保険制度。
- ②障害者保健福祉と障害者総合支援制度。
- ③介護実践に関連する諸制度。

《成績評価の方法と基準》

- ①素点 定期試験、小テスト等の得点 70% ②出席評価 20% ③平常評価 レポート、授業態度、ノート等 10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

中央法規出版 介護福祉士養成講座社会の理解。福祉法令集。

《授業外における学習方法》

社会の現在と変化を知るために、新聞等で社会福祉に関する事項を読む。その中から関心を持った内容について自分なりの考察を行い、クラスでプレゼンテーションを行い、情報を共有する。

《履修に当たっての留意点》

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	高齢者保健福祉の動向	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	高齢者保健福祉制度の基本的な仕組みを理解し、現状、課題をとらえる。		
第2回	授業を通じての到達目標	高齢者保健福祉に関連する法体系	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	高齢者の生活を支えるために関連する法体系の中で高齢社会対策基本法、老人福祉法、老人福祉計画、老人保健法、高齢者医療確保法、後期高齢者医療制度について概要を理解する		
第3回	授業を通じての到達目標	介護保険制度1	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	介護保険制度の内容を理解する1		
第4回	授業を通じての到達目標	介護保険制度2	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	介護保険制度の内容を理解する2		
第5回	授業を通じての到達目標	介護保険制度3	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	介護保険制度の内容を理解する3		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	障害者保健福祉の動向	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	障害者福祉の歴史をふまえ障害者福祉の理念を理解し、障害者福祉の動向の基礎を学ぶ。		
第7回	授業を通じての到達目標	障害者保健福祉に関連する法体系	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	障害者保健福祉の法体系の全体像を把握し、各法律における障害者の定義を学ぶ。障害児の支援制度を知る。		
第8回	授業を通じての到達目標	障害者総合支援制度1	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	障害者総合支援制度が出来上がるまでの背景や目的を理解し、国、都道府県、市町村の役割を知る。自立支援給付と地域生活支援事業について学ぶ。		
第9回	授業を通じての到達目標	障害者総合支援制度2	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	障害者総合支援制度法の利用手続きを学ぶ。また、相談支援の重要性を理解する。		
第10回	授業を通じての到達目標	介護実践に関連する諸制度1	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	個人の権利を守る制度・施策を理解する。4つの虐待防止法について学ぶ。成年後見制度と日常生活自立支援事業について目的と違いを通して理解する。消費者保護、個人情報保護、第三者評価、苦情解決・不服申し立ての各制度について学		
第11回	授業を通じての到達目標	介護実践に関連する諸制度2	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	保健医療に関する制度・施策について学ぶ。		
第12回	授業を通じての到達目標	介護実践に関連する諸制度3	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	貧困対策・生活困窮者支援に関する制度・施策を学ぶ。生活保護法、生活困窮者自立支援法の概要について理解する。その他の貧困対策、生活困窮者支援に関する制度・施策について理解する。		
第13回	授業を通じての到達目標	介護実践に関連する諸制度4	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	地域生活を支援する制度・施策について学ぶ。就労支援・雇用促進に関する制度、住生活を支援する制度、自殺を予防する制度について理解する。		
第14回	授業を通じての到達目標	社会の理解後半まとめ1	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	高齢者保健福祉と介護保険制度、障害者保険制度と障害者総合支援制度をふりかえる。演習を行う。		
第15回	授業を通じての到達目標	社会の理解後半まとめ2	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	虐待防止法、生活保護法、生活困窮者支援法等についてふりかえり演習を行う。		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	生活支援技術Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	通年 火曜1・2限	教室名	402教室・介護実習室
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/介護福祉士・社会福祉主事任用資格			
《授業科目における学習内容》						
<p>尊厳の保持の観点から自立的な生活を支援するために、多様な利用者に応じた適切な介護技術を学ぶ。DVDや動画鑑賞をし、基礎～応用の介護技術を習得する。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>定期試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>前期で学んだ介護技術・実習で学んだ介護技術を復習しておく。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>介護技術の応用力を身につける。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習を振り返り、施設(現場)での介護技術の習得ができる。	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」 配布資料	介護実習で学んだ介護技術を復習しておく。教科書の指定箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	介護実習Ⅱ-Ⅱを通して習得した介護技術について考え、まとめる。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習を振り返り、施設(現場)での介護技術の習得ができる。	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」 配布資料	介護実習で学んだ介護技術を復習しておく。教科書の指定箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	実習での振り返りから、実践した技術の良かった点や課題となった点をまとめる。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習を振り返り、施設(現場)での介護技術の習得ができる。	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」 配布資料	介護実習で学んだ介護技術を復習しておく。教科書の指定箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	実践した技術の改善部分を把握し、発表する。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例検討①	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」 配布資料	教科書の指定箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	国家試験問題(生活支援技術)の事例をグループで検討する。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例検討②	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」 配布資料	教科書の指定箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	国家試験問題(生活支援技術)の事例をグループで検討する。 手順シートを作成し、実践する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例検討③	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	国家試験問題(生活支援技術)の事例について考え、手順シートを作成、実践する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例検討④	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	国家試験問題(生活支援技術)の事例について考え、手順シートを作成、実践する。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例検討⑤	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	国家試験問題(生活支援技術)の事例について考え、手順シートを作成、実践する。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例検討⑥	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	国家試験問題(生活支援技術)の事例について考え、手順シートを作成、実践する。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉用具を使用した移乗方法の復習をし実践できる。	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	リフター操作、スライディングボード・シートの正しい使用方法が理解できているか復習する。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	応用の移乗方法を身につけ、実践できるようになる。	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	DVD鑑賞 移乗介助の実践(正しい起居動作・杖歩行・車椅子介助)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	応用の食事介助方法を身につけ、実践できるようになる。	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	DVD鑑賞 食事介助の実践(障害に応じた食事介助の方法)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	応用の介護技術が身についている。	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	応用の介護技術の振り返りを行う。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期のまとめ、対策ができる。	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	後期試験内容の発表、練習をする。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期のまとめ、対策ができる。	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	実技試験の練習をする。		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護発達と老化の理解		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	発達と老化の理解Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 火曜1限	教室名	401
担 当 教 員	平林 大輔	実務経験と その関連資格	鍼灸師・柔道整復師 関西医療大学 保険医療学修士			
《授業科目における学習内容》						
高齢者に出現しうる疾病、その症状について深く学ぶ。また、介護福祉士として患者さんに対して何が出来るかを考える。						
《成績評価の方法と基準》						
試験評価 80% 出席評価 10% レポート10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 編集 介護福祉士養成講座編集委員会						
《授業外における学習方法》						
解剖学と生理学の知識をつけておくのが望ましい、こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習する事						
《履修に当たっての留意点》						
介護を学ぶ上における基礎知識の一つであるので、板書をしっかりノートに書き込んでおく事						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうこころとからだの変化と生活が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習	
		各コマにおける授業予定	身体的な変化と生活への影響			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうこころとからだの変化と生活が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習	
		各コマにおける授業予定	身体的な変化と生活への影響			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうこころとからだの変化と生活が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習	
		各コマにおける授業予定	身体的な変化と生活への影響			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうこころとからだの変化と生活が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習	
		各コマにおける授業予定	心理的变化と生活への影響			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうこころとからだの変化と生活が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習	
		各コマにおける授業予定	心理的变化と生活への影響			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうところとからだの変化と生活が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	ところとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	社会的な変化と生活への影響		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうところとからだの変化と生活が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	ところとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	社会的な変化と生活への影響		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	ところとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	健康長寿に向けての健康		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	ところとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	健康長寿に向けての健康		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	ところとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	高齢者の症状・疾患の特徴		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	ところとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	高齢者の症状・疾患の特徴		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	ところとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	ところとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	ところとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	保険医療職との連携		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	テストによって理解度を確認し、知識の定着を図る	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	ところとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	まとめ・前期試験		

学 科	介護福祉科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	こころとからだのしくみ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (8) <small>時間(単位)</small>
対象学年	2年生		学期及び曜時限	通年	教室名	
担当教員	笠 陽子	実務経験と その関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			
《授業科目における学習内容》						
からだの基本的なしくみの理解、こころがからだに及ぼす影響について学ぶ。また、生活の障害はどのようなメカニズムで生じるのか、それにどのように対応するのかを学び、学生が根拠を持って生活援助の妥当性について説明することができる。						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) からだのしくみ事典(成美堂出版)						
《授業外における学習方法》						
授業で学んだ内容をノート等にまとめ、生活援助技術などの他科目と関連づけて学習できるよう復習しておく。						
《履修に当たっての留意点》						
精神的・身体的・社会的な健康を理解したうえで、利用者の健康状態を判断する基準、そして介護福祉士として利用者の生活の困難さを測る基準となる知識をしっかりと理解していきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	1年後期の講義内容を振り返り、食事に関連したしくみについて説明できる		・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・前期配布プリントを事前に復習しておくこと	
	各コマにおける授業予定	1年後期講義振り返り、食事に関連したしくみを理解する。				
第2回	授業を通じての到達目標	1年後期の講義内容を振り返り、排泄に関連したしくみについて説明できる		・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・前期配布プリントを事前に復習しておくこと	
	各コマにおける授業予定	1年後期講義振り返り、排泄に関連したしくみを理解する。				
第3回	授業を通じての到達目標	1年後期の講義内容を振り返り、睡眠に関連したしくみについて説明できる		・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
	各コマにおける授業予定	1年後期講義振り返り、睡眠に関連したしくみを理解する。				
第4回	授業を通じての到達目標	人が移動する必要性や移動の効果について説明できる		・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
	各コマにおける授業予定	第3章 移動に関連したこころとからだのしくみの講義 第1節 人が移動するためのからだのしくみを理解する。				
第5回	授業を通じての到達目標	移動が不自由になる要因を説明できる		・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
	各コマにおける授業予定	第3章 移動に関連したこころとからだのしくみの講義 第2節 移動が不自由になると生じる状態について理解する。				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 移動について日常生活の観察のポイントを説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第3章 移動に関連したころとからだのしくみの講義 第3節 介護をするべきか、訓練や治療をするべきかの判断のポイントを理解する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 身じたくに関連するからだのしくみについて説明できる(目、耳、爪・毛髪・口腔・歯・舌)	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第4章 身じたくに関連したころとからだのしくみの講義 第1節 身じたくに関連するからだのしくみについて理解する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 心身の機能低下身じたくに及ぼす影響について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第4章 身じたくに関連したころとからだのしくみの講義 第2節 身じたくを整えることを妨げる要因について理解する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 変化の気づきと対応について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第4章 身じたくに関連したころとからだのしくみの講義 第3節 身じたくのなかで気づくことのできる心身の変化や機能低下を把握するための観察事項を理解する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 。と清潔保持の必要性について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第6章 入浴・清潔保持に関連したしくみの講義 第1節 入浴・清潔の意義と効果について理解する。入浴・清潔保持のしくみについての汚れが皮膚に及ぼす影響を理解する		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第6章 入浴・清潔保持に関連したしくみの講義 第2節 心身機能の低下が及ぼす清潔保持への影響について理解する		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 入浴・清潔保持の前に確認する内容について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第6章 入浴・清潔保持に関連したしくみの講義 第3節 入浴・清潔保持の前に確認する内容や、心身の状態について理解する。 変化の気づきと対応について理解する。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 死にゆく人に関連したしくみを説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第9章 人生の最終段階のケアに関連したころとからだのしくみの講義 第1節 終末期に関する基礎知識や死の捉え方について理解する。看取りでの尊厳死の保持の意味を理解する		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 終末期から「死」までの変化と特徴を説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第9章 人生の最終段階のケアに関連したころとからだのしくみの講義 第2節 終末期から死までの身体機能の変化を理解する。状況に合わせた対応について理解する。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 移動・身じたく・入浴に関連したころとからだのしくみについて振り返りを行い、説明できる知識を深めることができる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・後期授業内容の振り返りを行う事前に行っておくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	移動・身じたく・入浴に関連したころとからだのしくみについて振り返りを行い、理解する		

学 科	介護福祉学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	こころとからだのしくみ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (8) <small>時間(単位)</small>
対象学年	2年生		学期及び曜時限	通年	教室名	
担当教員	笠 陽子	実務経験と その関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			
《授業科目における学習内容》						
からだの基本的なしくみの理解、こころがからだに及ぼす影響について学ぶ。また、生活の障害はどのようなメカニズムで生じるのか、それにどのように対応するのかを学び、学生が根拠を持って生活援助の妥当性について説明することができる。						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) からだのしくみ事典(成美堂出版)						
《授業外における学習方法》						
授業で学んだ内容をノート等にまとめ、生活援助技術などの他科目と関連づけて学習できるよう復習しておく。						
《履修に当たっての留意点》						
精神的・身体的・社会的な健康を理解したうえで、利用者の健康状態を判断する基準、そして介護福祉士として利用者の生活の困難さを測る基準となる知識をしっかりと理解していきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみについて理解する	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・前期配布プリントを事前に復習しておくこと	
		各コマにおける授業予定	人生の最終段階に関する「死」の捉え方について 看取りでの尊厳死の保持の意味を理解する			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみについて理解する	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・前期配布プリントを事前に復習しておくこと	
		各コマにおける授業予定	「死」に対する心の理解 死に対する不安や恐怖、死を受容する段階、家族を死を受容する段階(DVD視聴)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみについて理解する	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	終末期から危篤状態、死後の身体機能の変化			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみについて理解する	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	終末期における医療職との連携 状況に合わせた対応について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年時の振り返り こころのしくみについて理解する	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	健康とは、人間の欲求の基本的理解、自己概念と尊厳について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年時の振り返り からだのしくみについて理解する	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	身体各部の名称、ホメオスタシス、バイタルサインについて		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年時の振り返り 移動に関連したころとからだのしくみについて理解する	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	移動に関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、移動に関するころとからだの変化の気づきと医療職などの連携		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年次の振り返り 身じたくに関連したころとからだのしくみについて理解する	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	身じたくに関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、身じたくに関するころとからだの変化の気づきと医療職などの連携		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年次の振り返り 食事に関連したころとからだのしくみについて理解する	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	食事に関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、食事に関するころとからだの変化の気づきと医療職などの連携		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年次の振り返り 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみについて理解する	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、入浴、清潔保持に関するころとからだの変化の気づきと医療職などの連携		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年次の振り返り 排泄に関連したころとからだのしくみについて理解する	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	排泄に関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、排泄に関するころとからだの変化の気づきと医療職などの連携		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年次の振り返り 休息・睡眠に関連したころとからだのしくみについて理解する	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	休息・睡眠に関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、休息・睡眠に関するころとからだの変化の気づきと医療職などの連携		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	復習 人生の最終段階のケアに関連したころとからだのしくみについて理解する	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	人生の最終段階に関する「死」の捉え方について、死に対するころの理解、終末期の身体変化について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	ころとからだのしくみ総まとめ	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	1, 2年の授業振り返り		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	授業まとめ、国家試験過去問	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・後期授業内容の振り返りを行う事前に行っておくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	振り返り、まとめ、試験対策		

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	医療的ケア(講義)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (6) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験と その関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			
《授業科目における学習内容》						
医療職との連携のもと医療的ケアを安全・適切に実施できる様に必要な知識・技術を習得出来る						
《成績評価の方法と基準》						
科目終了試験:70% 出席評価点20% 平常評価点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版 2019.						
《授業外における学習方法》						
授業における小テストや配布プリント・授業内容の復習をしっかりと行い授業に臨む						
《履修に当たっての留意点》						
医療的ケアは利用者には直接的な影響を与えるケア技術である。正しい知識・技術の取得を持って安全な医療的ケアを行える様に介護福祉士を目指す。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	医行為とはどういうことか、その法的理解などについて理解する 介護福祉職等における喀痰吸引制度と「医療的ケア」について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 医療的ケアとは 医行為とは(法的な理解)について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療、医療の倫理について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	医療の倫理、倫理上の原則、自己決定の権利、個人情報の保護 利用者、家族に対する説明と同意について			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	個人の尊厳と自律について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	個人の尊厳と自律、利用者の尊厳を守り、自律を助ける支援、 利用者、家族の気持ちの理解について			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	喀痰吸引制度(社会福祉士及び介護福祉士法の改正)について 理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	医療制度とその変換、医療提供のしくみ、家族のケア負担とその 解決法、社会福祉士及び介護福祉士法の改正、改正法による喀 痰吸引法制度の概要について			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療的ケアと喀痰吸引等の背景、その他の制度について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	喀痰吸引等研修、介護福祉士養成課程における医療的ケアの学 習、社会福祉士及び介護福祉士法以外の法制度について			

授業の方法		内 容			授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	安全に喀痰吸引や経管栄養を提供する重要性を理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	喀痰吸引や経管栄養の安全な実施、リスクマネジメントの考え方と 枠組み、ヒヤリハット、アクシデント報告、その書き方について		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	救急蘇生について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	救急蘇生とは、必要性、一時救急救命、救急蘇生、救急蘇生法の実 際、AEDについて		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	清潔保持と感染予防について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	感染とは、地域集団、施設・組織としての予防策、手洗い・うがいの基本、 知識と手順について、手洗いの演習実施		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職の感染予防について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	介護福祉職の健康管理、ワクチン接種とは・原理と種類、使い捨て手袋 やガウン等の使用の必要性、標準予防策について、タダシマスクやエ プロンのつけ方の実施		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	療養環境の清潔、消毒法について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	環境の違いや感染性のある体液、嘔吐・排泄物の扱い、医療廃棄物の処 理について		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	感染性廃棄物の処理のしかたについて理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	ビニール袋を使った簡易エプロンの作成、模擬吐物の処理の実施演習		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	消毒と滅菌について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	消毒と滅菌の違い、消毒剤の使い方と留意点について		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	健康状態の把握について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	平常状態とは、県呼応上体を知る項目（バイタルサイン）、体温、脈拍、呼 吸、血圧について、測定の実施		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	急変状態について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	急変状態とは、急変時の対応と事前準備（報告、連絡文、応急手当、記 録）について		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	授業のまとめ、振り返り	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	振り返り		